

製品安全性データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	グリホエース PRO
会社名	株式会社 ハート
住所	東京都千代田区富士見 1-12-9 グリーンアースビル
電話番号	03-5212-1365
FAX 番号	03-3221-0035
メールアドレス	info@heart-jp.com

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

火薬類	区分外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	区分外
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	区分外

健康に対する有害性

酸化性液体	区分外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	区分外
金属腐食性物質	区分外
急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類対象外
急性毒性(吸入:粉じん)	分類対象外
急性毒性(吸入:ミスト)	分類対象外
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
呼吸器感受性	分類できない
皮膚感受性	区分外
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分外(グリホサート)
生殖毒性	区分外(グリホサート)

環境に対する有害性

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
水生環境急性有害性	区分外
水生環境慢性有害性	水生生物に長期の有害影響を有する可能性 がある

ラベル要素

絵表示又はシンボル	該当なし
注意喚起語	警告
危険有害性情報	眼刺激
注意書き	【安全対策】

・ 取り扱い後は手や顔をよく洗うこと。

・ 環境への放出を避けること。

【応急措置】

- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・ 漏出物を回収すること。

【保管】

なし

【廃棄】

- ・ 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
  - ・ 使用済みの容器は、他の用途に使用しないこと。
- 以下の点については、GHS 分類結果より GHS ラベル要素は非該当であるが、取り扱い時には農業および化学品の通常の注意を行うこと。

[安全対策]

- ・ 保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。
- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・ ミストの吸入を避けること。

[応急措置]

- ・ 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
- ・ 気分が悪い時は医師に連絡すること。
- ・ 皮膚についた場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・ 吸入した場合、被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

[保管]

- ・ 容器を密閉し、換気の良い所に保管すること。

データなし

国・地域情報

3. 組成及び成分情報

化学物質

単一製品、混合物の区分

混合物

化学名又は一般名

グリホサートイソプロピルアミン塩

含有量

グリホサートイソプロピルアミン塩

・・・41%

水、界面活性剤

・・・59%

グリホサートイソプロピルアミン塩

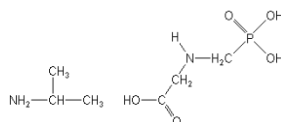
CAS 番号 38641-94-0

界面活性剤

非公開

化学特性

(示性式又は構造式)



分類に寄与する不純物及び安定化添加物

なし

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、空気の新鮮な場所へ移動させること。軽症時：被災者の監視を続けること。症状が悪化した場合は、直ちに医師の治療を受けること。重症時：直ちに医師の治療を受けること、または救急車を呼ぶこと。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類や靴を取り除くこと。十分な水で皮膚を洗い流すこと。水や石鹼で洗うこと。刺激が悪化した場合は被災者を監視すること。

目に入った場合

直ちに十分な水や洗眼液で残余感がなくなるまで目を洗うこと、また時々まぶたを開けること。コンタクトレンズを着用している場合は数分後に取り外し、もう一度目を洗うこと。直ちに医師の治療を受けること。

飲み込んだ場合

消化管に刺激を生じる場合がある。直ちに口をすすぎ、ミルクや水を飲むことで希釈すること。無理に吐かせないこと。嘔吐が生じた場合は、もう一度口をすすぎ水分を飲ませること。医者を呼び、治療を受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状

データなし

応急措置をする者の保護

データなし

医師に対する特別注意事項

データなし

5. 火災時の措置

消火剤 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性 特有の消火方法		小火災時：粉末薬品、二酸化炭素、大火災時：水噴霧、泡大量注水 火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。 火災に晒されている容器を冷やすために水噴霧を使用すること。有害な蒸気や 毒性分解産物を避けるために、風上から消火作業を行うこと。消火作業は保護 エリアが可能な限り離れた位置から行うこと。排水溝への水の流出をさせないこ と。 消火作業の際は、状況に応じた保護具を必ず着用する。
6. 漏出時の措置		
消火を行う者の保護		
人体に対する注意事項、保護具 および緊急措置		流出対応について手順を準備しておくことが望ましい。流出物の回収には開閉可 能な空容器(非金属)を使用すること。流出物を清掃する時に保護具を着用するこ と。流出の程度次第では、呼吸器、保護面か保護眼鏡、耐化学防護服、保護手 袋、保護靴を着用すること。安全であれば、直ちに流出源を取り除くこと。可能な 限りミストの形成を回避もしくは減らすこと。飛散によるばく露を避けること。 土壌や水への汚染を防ぐために、流出物を回収すること。洗浄に用いた水の地 上への流入を避けること。環境汚染が起きた場合は、適切な規制機関に連絡す ること。 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて、密閉できる空 容器に回収する。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に 導いてから処理する。 漏出源を遮断し、漏れを止める。
環境に対する注意事項		
回収・中和		
二次災害の防止策		
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策：	換気の良い場所で取り扱う。 吸入、皮膚への接触を防ぎ、また、目に入らないように適切な保護具を着用す る。 取り扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、取り扱い後に、手、 顔などをよく洗う。
	局所排気・全体換気：	「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
	安全取扱注意事項：	飲み込みを避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと 皮膚との接触を避けること。 ミストの吸入を避けること。 環境への放出を避けること。
保管	保管条件	密封を行い、食品と区別した化学品保管庫で保管する。また排気が行える乾燥 した場所に保管する。
	容器包装材料	合成樹脂の内層のない鋼鉄製（ステンレスを除く） の容器類は使用しないこと。
8. ばく露防止及び保護措置		
管理濃度		未設定
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)		未設定
	OSHA PEL	未設定
	ACGIH TLV(s)	未設定
	日本産業衛生学会	未設定
設備対策		データなし
保護服	呼吸器の保護具	保護マスク
	手の保護具	保護手袋
	眼の保護具	保護眼鏡
	皮膚及び身体の保護具	保護服
衛生対策		データなし
その他		データなし
9. 物理的及び化学的性質		
物理的状态	形状	澄明水溶性液体
	色	淡黄色
	比重	1.18 (20℃)
	pH	4.7
10. 安定性及び反応性		
安定性		通常取り扱い条件において安定。
危険有害な分解生成物		情報なし
避けるべき条件		情報なし

混触危険物質 情報なし  
 危険有害反応可能性 情報なし

1 1. 有害性情報

急性毒性 経口(ラット) LD50: >2,000mg/kg[区分外]  
 経皮(ラット) LD50: >2,000mg/kg[区分外]  
 刺激性 眼刺激性(ウサギ) 適用 1 時間後において結膜刺激作用を引き起こしたが、72 時間以内に完全に回復したので、区分 2B とした。[区分 2B]  
 皮膚刺激性(ウサギ) 刺激性なし[区分外]  
 感作性 皮膚感作性(モルモット) 感作性なし[区分外]  
 慢性毒性 グリホサート: 動物実験で発がん性、催奇形性、変異原性、生殖毒性を示さなかった。

1 2. 環境影響情報

生態毒性 水産動植物への影響 コイ LC50(96hr) 178.53 mg/L  
 オオミジンコ EC50(48hr) 440.8 mg/L  
 藻類 EbC50(0~72hr) 103.10 mg/L  
 ErC50(0~72hr) 210.79mg/L  
 その他 オクタノール/水分配係数 pH4: log10Pow=-4.6(20°C)  
 pH7: log10Pow=-5.0(20°C)  
 pH10: log10Pow=-5.0(20°C)

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。  
 廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。  
 汚染容器及び包装 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に処理を委託する。  
 使用済みの容器は、他の用途に使用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制 国連分類 : 国連定義の危険物に該当しない。  
 海洋汚染物質 : 該当しない  
 国内規制 陸上輸送 : 道路法等に定められている運送方法に従う。  
 海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。  
 航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。  
 輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。  
 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に 行う。  
 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。

1 5. 適用法令

農薬取締法 : 農薬登録 第 23938 号 (除草剤)  
 化審法 : 既存化学物質 N-(ホスホノメチル)グリシン  
 道路法 : 該当しない  
 消防法(危険物、指定可燃物) : 該当しない  
 毒劇物取扱法 : 該当しない  
 労働安全衛生法(第 57 条 表示対象物質) : 該当しない  
 労働安全衛生法(第 57 条の 2 通知対象物質) : 該当しない  
 化学物質管理促進法(PRTR 法) : 該当しない  
 土壌汚染対策法 : 該当しない

1 6. その他の情報

記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しております。記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意して下さい。